

2024年度事業報告

I. はじめに

2024年度は、エネルギー資源の価格高騰や人手不足等に伴い、各種サービスや商品の値上げが継続する中、若干の影響はあったものの、おおむね計画どおり各種業務を執行することができ、VICS サービスについて安定的な提供を行うことができた。

VICS 対応車載機の出荷台数は、約375万台（対前年度比105%）となり、サービス開始からの累計出荷台数も8,592万台にのぼっている。

その結果、「当期一般正味財産」は、約6.1億円の正味財産増となった。

しかしながら今後は、継続する物価上昇や訪日客の大幅な増加に伴うオーバーツーリズムによる観光地等での渋滞問題、加えて近年のゲリラ豪雨、台風、大雪等の災害多発による道路等の情報提供の重要度増大、さらにはコネクテッドカーの普及によるモビリティの更なる進展等、VICS を取り巻く事業環境の変化について、今まで以上に注視していく必要がある。

II. 事業執行状況

当面の経営・事業の指針として策定した「VICS 中期ビジョン 2023」の「より正確に、より安定的に、より多様に多彩に」を方針に、取組みの具体化を進めた。

（1）プローブ情報総合化実証実験の本格運用準備と新たなサービスの検討

①プローブ情報総合化実証実験の継続と本格運用に向けた準備

2022年7月に全国展開したプローブ情報総合化実証実験について、全国実走評価による渋滞情報精度の検証を行い、安定した情報品質が確保できていることを確認した。また、システムの強靱化やセキュリティ強化対策等を実施し、本格運用移行に向けた準備を完了した。

実証実験で得られた成果を実証実験検討会で総括するとともに、ステークホルダーの合意形成を図り、2025年4月から本格運用に移行することを決定した。

②現行サービスの改善と新たなサービスの実現

2021年12月から新潟県で開始した大雪時通行規制情報等の配信（ポップアップ表示）について、順次提供エリアを拡大中であり、さらにこの情報提供サービスを活用し、暴風雨等の大雪以外の災害リスク発生時において、車載機に注意喚起メッセージをポップアップ表示するサービスの提供を、九州・近畿地域において開始した。

また駐車場の満空情報を提供する社会実験を実施中であるが、大阪・関西万博期間中は、関連エリアの配信対象駐車場数を拡大し、提供する予定となっている。

③中長期的なサービスの検討

ITS JAPAN が主催する「移動データ統合・実装WG」や「災害レジリエンス委員会」に参画し、関連企業および団体と連携した道路利用情報（移動データ）の活用による様々な社会課題の解決に有益な VICS サービスの検討を進めている。

（2）センターおよび放送所システムの高度化・高信頼化

①システムの開発・安定稼働

システム 2.0 関連の安定稼働確保を目指し、センターシステム OS へのセキュリティパッチ適用を完了し、監視カメラ導入等による操作監視システムの構築による、セキュリティの強化を図った。放送事業者として、確実な情報提供と障害発生時の迅速な対応を図るため、市街地モニター2.0 として機器更新の上、全国 56 放送局に展開を完了した。

さらに、2026 年度の仮想化基盤の更新時期を見据え、システム 2.0 導入以降のサービス展開や運用状況を踏まえた最適な基盤更新のための検討を進めている。

②災害等への対応力の強化

大規模災害等により放送所設備に障害が発生した場合に備え、東京と大阪の 2 か所に配備している臨時災害放送用可搬型設備が更新時期を迎えたことから、新設備を導入するとともに、電波試験、設置訓練等を実施し、即応体制を強化した。

さらに、運用管理に関する人的な能力の維持・向上のため、JARTIC や NHK 等の関係機関との合同訓練や保守委託事業者を対象とした FM 多重技術テクニカルワークショップをそれぞれ複数回実施した。

（3）新たなニーズへの適切な対応

Web ユーザー調査では、渋滞情報に対する精度向上や提供範囲の拡大を望む声が変わらず上位であることを確認するとともに、全ドライバーに占めるスマホナビの利用比率が 26% となり、2021 年度以降 2% 前後ずつ増加傾向にあることを確認した。

また VICS 車載機出荷台数への取り巻く環境調査においては、ディスプレイオーディオの増加傾向や Google built-in といった全世界対応ナビの採用拡大が今後の VICS 車載機市場台数のトレンド予測において注視すべき点であることも確認した。

有識者へのインタビューをもとに交通・MaaS 領域における今後の VICS 情報活用案の検討も実施した。

（4）継続施策の改善・進化

①広報・普及促進活動の一層の推進

「気象・災害情報」提供の有用性をホームページに追加掲載し、VICS センターの取組によるユーザーのメリットをわかりやすく伝えることで、VICS 対応車載機の普及拡大を図るとともに、「VICS プローブ活用サービス」本格運用開始に伴い、メディアを招いた取材会とプレスリリースを行い、認知度向上を図った。

ステークホルダー向けの情報発信（情報公開）として、機関誌 VICS NEWS の発行を継続するとともに、ユーザーの声の収集を通じて、サービスの改善につなげ

た。

②業務管理等

OA環境で使用する端末の更新に合わせ、OSバージョンアップ（Windows11）対応とセキュリティ対策により、端末をモバイルPCとし、執務エリア、会議室、さらに在宅勤務で、各自同一端末で業務できる環境を構築し、ペーパーレス化等の業務の効率化を進めた。

Ⅲ. 事業計画執行のための会議の開催

(1) 理事会

① 2024年 5月27日 2024年度第1回理事会

第1号議案 2023年度事業報告(案)及び計算書類等(案)承認の件

第2号議案 評議員選定委員1名選任の件

第3号議案 評議員候補者4名推薦の件

第4号議案 2024年度定時評議員会招集の件

第5号議案 役員等賠償責任保険の契約内容につき承認の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

② 2024年 6月12日 2024年度第2回理事会

第1号議案 理事長、専務理事及び常務理事の選定の件

第2号議案 業務執行理事の業務分担の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

③ 2024年11月15日 2024年度第3回理事会

第1号議案 2024年度臨時評議員会招集の件

第2号議案 職員給与規程一部改正(案)承認の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

報告事項 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

④ 2024年12月 1日 2024年度第4回理事会(決議の省略)

専務理事の選定の件

理事全員の同意および監事全員の確認があったので、決議があったものとみなされた。

⑤ 2025年 3月13日 2024年度第5回理事会

第1号議案 「プローブ情報の活用に関する実証実験」の終了と本格運用移行について

第2号議案 2025年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)承認の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

報告事項 VICSシステムの設備更新について

(2) 評議員会

① 2024年 6月12日 2024年度定時評議員会

第1号議案 2023年度計算書類等(案)の承認の件

第2号議案 理事16名選任の件

第3号議案 監事3名選任の件

以上が審議され、いずれも原案のとおり承認された。

② 2024年11月30日 2024年度臨時評議員会（決議の省略）
理事1名の選任について評議員全員の同意があったため、決議があったものとみなされた。

（3）事業報告会

Webで開催。

（4）事業懇談会

- ① 2024年 5月21日 2024年度第1回
- ② 2024年11月11日 2024年度第2回
- ③ 2025年 3月 7日 2024年度第3回

（5）車載機連絡会

- ① 2024年 5月16日 2024年度第1回（通算第88回）
- ② 2024年 8月29日 2024年度第2回（通算第89回） 書面報告
- ③ 2024年11月 7日 2024年度第3回（通算第90回）
- ④ 2025年 2月20日 2024年度第4回（通算第91回）